

令和元年度 決算特別委員会

令和元年度の主な施策・事業

- ・町営住宅建替事業
- ・担い手づくり支援住宅建設事業
- ・有害鳥獣対策事業
- ・南蔵王やまびこの森キャンプ場整備事業
- ・小中学校冷房設備設置事業

一般会計

歳入

問 公営住宅未収入の要因は。

答 今年度分と繰り越し分20件ほど家賃が未収入になっている。

歳出

問 地域づくり委員会の活動状況は。

答 各地区で、花いっぱい事業など様々な分野の活動を行っている。

問 ふるさと納税贈答品の内容と返礼の割合と実績は。

答 町内地場産品を返礼している。割合は寄付金の3割以内で、10名の寄付があった。

問 移住定住支援センターの事業効果は。

答 移住定住相談などを通して5年間で25名の実績があった。他に自然体験交流事業等も行っている。

問 保育所の建て替え計画は。

答 長寿命化計画を作成し、今年度中に判断したい。

問 入浴施設「や・すまっしえ」の利用状況は。

答 利用者数合計は10825人で町内利用者は35%です。

問 農林業次世代投資事業の実績は。

答 酪農家で一人、法人で一人、個人で7名の申請である。

問 七ヶ宿ブランド認定製品の追加件数は。

答 本年度3製品が追加された。



▲雪室熟成コーヒー



▲七黒炭



▲七ヶ宿焼

特別会計

七ヶ宿ダム自然休養公園特別会計

問 町の観光の場として、今後、具体的な整備計画はあるのか。

答 令和元年度と今年度で遊具の整備を行なった。来年度以降に県の補助を見込みながらトイレの整備を計画して行きたい。



▲ダム公園遊具

総括質疑

問 国の財政は令和2年度末で国債額が1000兆円を超える見通しだが、町の財政運営に対する考えは。

答 大型事業を実施し起債額は増えているが、5年後10年後の財政負担を考慮し、国庫補助や過疎債など有利な起債をしていく。

問 「おたて」や賑わい拠点の諸施設など、決算に対し事業効果が低く、町民の利用率も低い。町の活性化対策となっているのか。

答 交流人口や関係人口に結びつける事業として行ってきた。活性化対策については町民の生活に対する評価を常にしていきたい。

問 やまびこの森キャンプ場の塀など、自然空間が最大限に生かされていないのでは。

答 指定管理者と利用者の声を聞いて判断したと伺っている。利用者の考えや意見もまとめる必要がある。

問 高齢者対策は地域の大きな問題であり、地域づくり交付金事業や公民館事業でも取り組むべきでは。

答 地域づくり交付金は地区の実状に応じて使うことに制限していない。高齢者のニーズをしっかりと確認し、事業のあり方を検討し実施していく。



▲決算特別委員会